

平成31年度予算の概要

まちづくりの基本となる平成31年度各種会計予算が、第1回市議会定例会で可決、成立しました。

一般会計予算は、前年度当初比で、6・7%減の184億9000万円です。そのうち震災関連経費は、3・4%に当たる6億3276万円となりました。

今年度は、「次世代を担う子どもの教育環境づくり」、「地域で子育てできる環境づくり」、「健康で生きがいを実感できる高齢者の元気づくり」および防災に力点を置いた「安全・安心で快適なまちづくり」を重点施策と位置付け、これらの取り組みを着実に推進していきます。

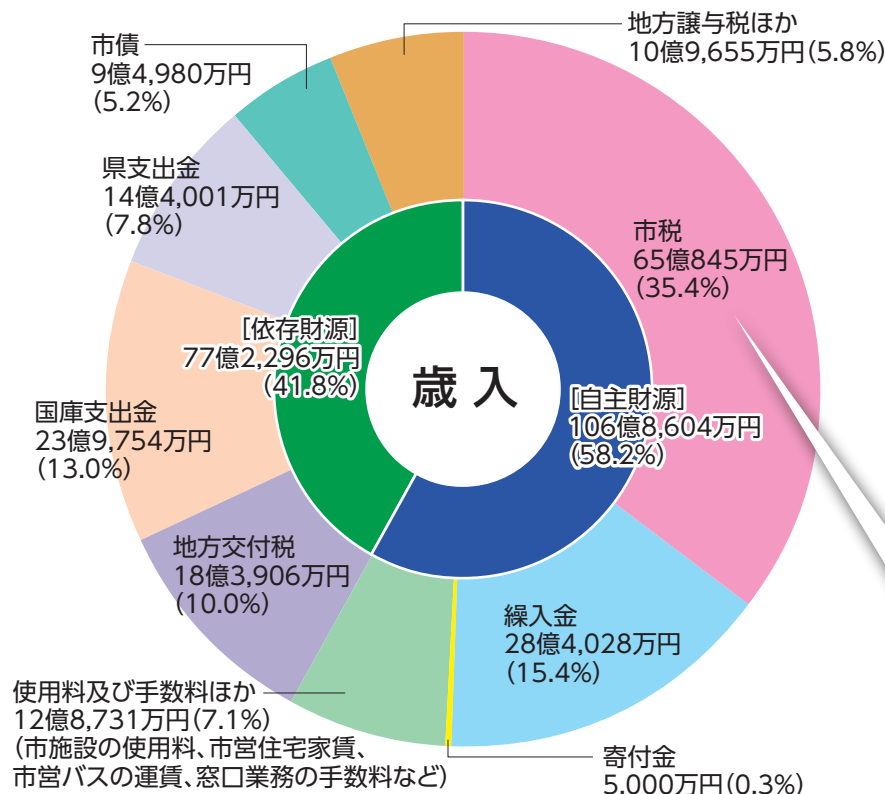
平成31年度の予算規模

会計名		予算額	前年度比 (%)
一般会計		184億900万円	△6.7
特別会計	国民健康保険事業特別会計	42億2,297万円	0.2
	後期高齢者医療特別会計	4億4,681万円	1.4
	介護保険事業特別会計	34億9,431万円	4.9
	矢野目西地区 土地区画整理事業特別会計	26億7,220万円	12.9
特別会計合計		108億3,629万円	△15.1

会計名		収益的収支	資本的収支
企業会計	水道事業会計	収入	14億1,897万円
		支出	13億4,318万円
	下水道事業会計	収入	21億2,043万円
		支出	18億9,833万円
	特定公共下水道事業会計	収入	2億2,799万円
		支出	1億7,440万円

歳入

歳入は、市税や使用料、寄付金などの自主財源と地方交付税や国・県支出金などの依存財源で構成されています。



歳入総額
184億900万円

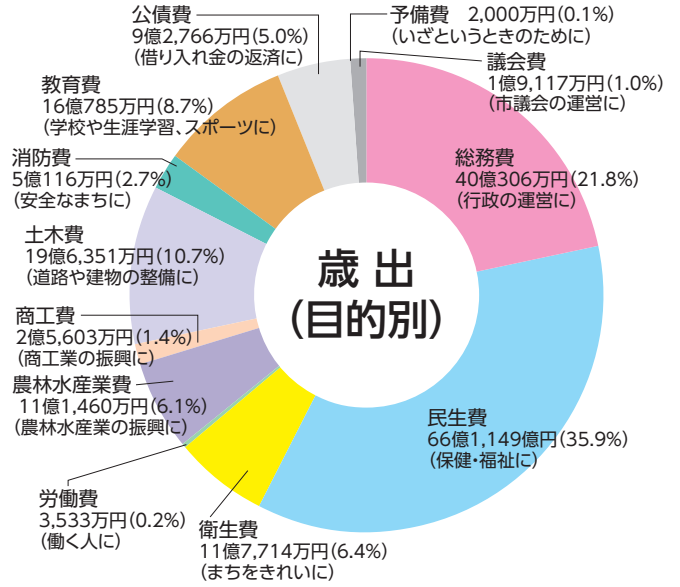
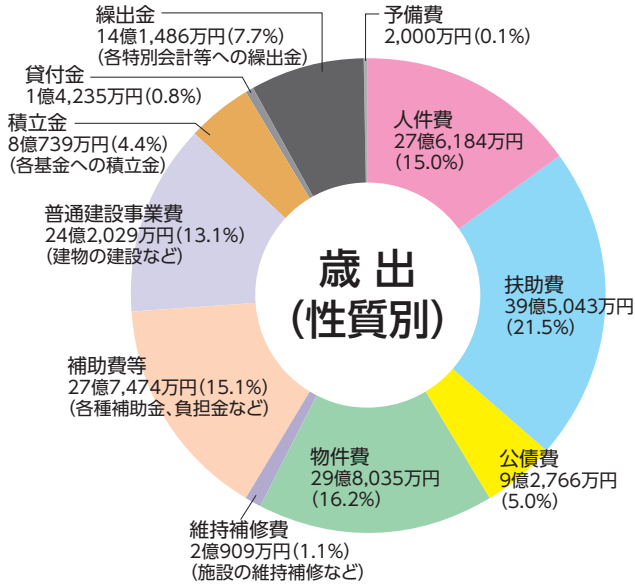
市民税	24億3,283万円
固定資産税	32億2,286万円
軽自動車税	9,538万円
市たばこ税	2億8,484万円
都市計画税	4億7,254万円

用語の解説 市税：市民の皆さんから納めていただいた市民税や固定資産税など 地方交付税：所得税、消費税、酒税等の国税の中から市の財政状況に応じて国が交付するお金 国庫・県支出金：国・県の施策による特定の事業を行う場合の財源として交付されるお金 寄付金：市に寄付されたお金で、ふるさと納税も寄付金に含まれます 市債：市が公共施設などを建設するときなどに国や銀行から借り入れる資金 人件費：市議会議員、市長、市職員などの報酬や給料 扶助費：児童・高齢者・障害者福祉、生活保護などに使われるお金

歳出

歳出には、「目的別」と「性質別」という分類があり、「目的別経費」は、民生費や農林水産業費、土木費、教育費などの目的別に分類しています。「性質別経費」は、人件費や扶助費など経費の性質に応じて分類しています。

歳出総額
184億900万円



市民1人あたりで見える予算額 (人口：平成31年2月28日現在の44,224人で計算)

市民1人あたりの税額 147,170円		市民1人あたりの支出額 415,815円					
市民税	固定資産税	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費
55,012円	72,876円	4,323円	90,518円	149,500円	26,618円	799円	25,204円
都市計画税	軽自動車税ほか	商工費	土木費	消防費	教育費	公債費	
10,685円	8,597円	5,789円	44,399円	11,332円	36,357円	20,976円	

※予備費を除いて算出しています。

平成31年度補正予算 (第1号) が可決・成立

平成31年度当初予算に引き続き、同年度の補正予算 (第1号) が審議され、定例会最終日に可決・成立しました。

補正予算 (第1号) は、消費税率引き上げに伴う地域における消費の喚起・下支えを目的とするプレミアム付き商品券事業に係る経費を計上するもので、歳入・歳出とも1億9,680万7,000円を追加しており、これにより総額186億580万7,000円となりました。

プレミアム付き商品券事業については、詳細が決まり次第あらためてお知らせします。

